

〔夢と志を育てる学園〕

玉手山学園 広報

巻頭 理事長挨拶

今冬 避難所運営の演習 初実施



恩 感

建学の精神「感恩」

人は さまざまな恩恵のもとで 生かされている
この真理に目覚め 感動と感謝から生まれる 豊かな心と情熱をもって
人の幸せを願い 行動するとき 私たちは成長し 社会に貢献できる
～「ありがとう」に出会い 気づき 感動 感謝の行動から
新しい「ありがとう」が生まれる～

今冬 (12/10) 避難所運営の演習 初実施 (於 学園)



学園の大きなエネルギー 若者の存在

柏原市の人口7万人 この学園に5,000人
若者は豊かな心 (人が喜ぶこと 何かできないか) を有す

それが 形になり 行動を起こし
大きな力になる

そして人に喜ばれ (ありがとう) 若者は成長する



学園航空写真(2019.4撮影) ここにおよそ5,000名 大きな大きな存在

この街で まさかの災害が発生したら

多くの方が この学園を頼って集まって来る（避難所に）

学生・生徒・園児・教職員の 安全確保 そして避難者の支援

未経験の迷うことばかり 総力を結集 できるのか？



学園総合体育館“Do夢”ここが避難所に!

“まさか”に備え “心の醸成”と “頭の訓練”を経験

学園総合体育館“Do夢”で避難所運営演習を初実施
課題噴出歓迎 それが大きな第一歩 “Yattemiyou!”



2019.4.20 福科大 コブクロPJゴミ拾い
於 JR柏原駅周辺 豊かな気持ちに



2019.5.12 JR柏原駅130thセレモニー
福科大高 吹奏楽部が演奏 街の人から拍手を



2019.2.23 Kanjo短 保育フェスタ 和太鼓
今どこかの幼稚園で先生と呼ばれ...

学園の若者たちは 必ず大きな力となる

“この演習”で 学園の使命 自分の存在を実感

恩 感

建学の精神「感恩」

理事長・学園長 江端 源治

世界で活躍する

アジアU-22ハンドボール選手権 (香港) 体験レポート

大学 女子ハンドボール部

安達 晴香 (社会福祉学科 4年生) 岸本 晴日 (教育学科 2年生)

7月13日(土)～22日(月)、香港にて行われた女子ハンドボールの東アジア選手権に日本・韓国・中国・台湾・香港・タイの6カ国・地域が参加しました。結果は、韓国以外とは大差で勝利、最終戦の韓国戦では24-22の激闘を制し、今大会初めての優勝で幕を閉じました。試合に出ると今まで感じたことのない緊張感があり、思い切ったプレーができない時もありましたが、東アジア選手権という場で初めての優勝という経験をさせてもらったこと、また、海外でプレーさせてもらったこと、全てが貴重な経験になり勉強になりました。



【今後の意気込み!】

岸本：今後は東アジア選手権で経験させてもらって感じたことをチームに伝え、一勝でも多く勝利に貢献できるようなプレーをしていきたいです。今まではOFでしたが今回を機会にDFも頑張りたいと思います!

安達：11月に開催される全日本インカレではベスト8を目指し、チーム一丸となって頑張りたいと思います!

2019

合気道 世界選手権大会 (アメリカ)

大学・短大 広報室 辻村 匡志

國本さん：海外の選手と試合が出来てとても良い経験になりました。体格やパワーの差を技でカバーし、結果を残せた事がとにかく嬉しいです!





玉手山学園ファミリー

世界なぎなた選手権大会 (ドイツ)

高校 林田 智笑

2019年7月6日(土)、ドイツのヴィースバーデンにて行われた「世界なぎなた選手権大会」に出場しました。

結果は演技の部2位、個人の部3位でした。国内の予選を通過してから、日本伝統文化である武道としての「なぎなた」とは何か、また、自分の「なぎなた」とは何か、を考えながら稽古を続けてきました。その明確な答えを見つけることができないまま大会を迎えましたが、どんな状況であっても自分のベストを出し切ることを目標に挑みました。

4年後の世界大会では優勝できるように、今後の課題である、大会に向けての調整の仕方とメンタルをコントロールすることを克服し、鍛錬を重ねてまいります。たくさん応援してください、誠にありがとうございました。



関西福祉科学大学、合気道部に所属する社会福祉学科2年播磨祐さんと心理科学科4年國本力也さんが、7月25日(木)～28日(日)にアメリカのサンディエゴにあるMesa Collegelにて開催された合気道世界選手権大会に出場され、男子乱取り団体戦で3位、種目別混合団体戦で2位という、素晴らしい結果を残されました。この度、世界選手権に出場された播磨さん、國本さんから、次のようなコメントを頂きました！

播磨さん：日本チームで唯一白帯での参加でしたが日本代表チームのメンバーの支えもあり気負わず動けたと思います！





福祉の仕事 学内合同説明会

開催

大学 社会福祉学科 三田村 知子

6月24日(水)、学園本館2Fにて第2回目となる「福祉の仕事学内合同説明会」を開催しました。

高齢者施設、児童施設、障害者施設、医療機関、企業、社会福祉協議会など30か所の団体のみなさまにお集まりいただきました。今年も参加団体のみなさまには就職に関する相談だけでなく、福祉の仕事に関する素朴な質問やボランティアに関する相談も積極的に受けていただきたいこと、そして本学卒業生も一緒に参加して学生との橋渡し役を担っていただきたいことを願いました。

昨年は昼休みに参加学生が集中したことを受け、今年は昼休み前から開始しました。開始直後から、授業の空き時間を利用した学生が来場。最初はどこへ聞きに行こうかと少し不安そうな面持ちの学生も、優しく迎えてくださる各団体の職員と卒業生の前に行くとなんと表情もほぐれ、話に聞き入っていました。昼前には会場がいっぱいとなり、両

者とも真剣に、そして笑顔の絶えないやりとりが各ブースで見られました。

参加した学生からは、「タブレットの写真などを使って仕事内容を説明してもらい分かりやすかった」「自分の関心がある分野だけでなく、他の分野の話も気兼ねなく聞きに行くことができ、福祉の様々な役割が理解できた」と喜ぶ声が多数ありました。さらに今回の説明会が施設見学やインターンシップといった今後につながる出会いの場となったところもあったようです。

16時までの開催で総計340名近くの学生が来場し、今年もたいへん活気にあふれた説明会となりました。



健康福祉学部 福祉栄養学科の 新給食経営管理論実習室が 完成しました

大学 福祉栄養学科 学科長 峯松 正敏

新年号に引き続き、福祉栄養学科の実験・実習教室改修第2弾として、ご報告致します。すでに本学科の「給食経営管理論実習」で実物をご覧頂いた方は…今から紹介するのはその教室です。以前は1階にあった同実習室を、同じ建物の4階へ移転改修して今年の6月に完成しました。先の給食経営管理論実習は、完成直後に行われた授業です。4階窓から眺める遠景は、ぶどう畑と山並みです。今回のカラーテーマは「欧州の古城を改築したオーベルジュ」です。うす暗い石壁を抜けると眼前に広がる明るく華やかなコートヤードをイメージしました(そのように想像しながら、本学科公式Twitterをご覧ください)。

一方、肝心の機能面は、開学科以来継続して使用してきた旧式の機器と決別し、最新式です。学生が卒業後に就職した病院や企業と比較して見劣りしないばかりか、一歩先

を行くものであり、臨地実習を担当する先生方がホッと胸をなで下ろす程に設備を改善して頂きました。関係省庁の施設基準に対する適合性を判定しても、十分に「基準適合」レベルであり、これで法改正がない限り当面は、指摘・指導されることはないと思います。併せて、①最新機器の技術発達が学生の力量を補って完成域へ導き学生へ大きな自信を与え、②作業動線の改善と十分な性能の空調機器が作業環境を著しく改善させ圧倒的な能率向上を果たし、③学生の満足度が著しく向上して疲労の度合いは明らかに低下し、④新しく導入した調理機器や音響・映像システムが知的好奇心を刺激し、施設の充実が学生の主体性を向上させました。このように、副次的効果と呼ぶには余りに大きな成果を生み出しており、学生を成長させる一助になった事実は、我々にとっても新たな発見でした。

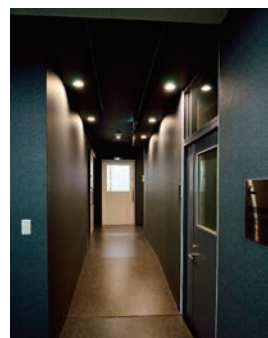
また、新実習食堂は「ふっかの健康食ラボラトリーHP」で会員登録した一般の方や柏原市の地域住民を対象とした健康教育でも活用する予定です。柏原市や近郊でこだわりを持つフレンチレストランやカフェのシェフを招いて「低脂肪でも美味しいフレンチ講習会」や「地場産果実を使った

低カロリーデザート教室」を開催し、そこへ学生が参画する「生活習慣病予防を目指した健康食教育プログラム」を融合させる計画です(実習食堂の意匠はその目的を含みます)。さらに、この実験棟4階へ日本酒やワインの「醸造プラント」を構築する予定であり、本誌面へ三度の登場として紹介記事が掲載されるのは、そう遠くない時期であると思います。

今回も多くのご協力があった完成した実習教室です。玉手山学園の発展へ必ず寄与するとの思いから、本学科も絶えず工夫と努力を続けています。ぜひ新しい実習教室へお運び頂き、見学希望の際は、福祉栄養実習室A助手へお知らせ下さい。



TV会議システムを使用した実習の授業風景



うす暗い石壁風の廊下を抜けると…



明るく華やかなコートヤード風の実習室

高校サッカー部のコンディショニング指導



大学 リハビリテーション学科 三谷 保弘

理学療法学専攻の教員と大学生は、高校サッカー部に対してコンディショニング指導を行っています。

コンディショニング指導の目的は、選手の障害予防の意識を高め、自らの体を正しくケアすることです。体をケアすることは、障害予防だけでなくパフォーマンスの向上にもつながります。理学療法学専攻の学生もコンディショニング指導に参加し、教員とともにストレッチや筋力トレーニングなどの指導を行っています。学生にとっては、貴重な

実践の場にもなっています。また、選手に対して障害予防に関する講演を行い、コンディショニングの理解を深めています。

毎回、選手たちは積極的に取り組んでいます。これからも、コンディショニング指導を通じて選手の障害を予防し、満足なプレーができるよう貢献していきたいと思えます。



新しく生まれ変わった診療所で さらなる地域貢献を!

法人本部 植田 陽



2013年(平成25年) ●地域貢献 ●大学教育・研究の質向上 ●学生の実習指導の場を目的に(旧名)「関西福祉科学大学附属総合リハビリテーション診療所」として開院致しました。以来、地域と共生することをめざし運営してまいりましたが、当初想定したほどご利用をいただけるには至っておりませんでした。これでは十分な地域貢献ができていないと考え、PTを始めとする新スタッフを加え、治療医療とともに予防医療も充実させ、今年8月に「関西福祉科学大学附属整形外科リハビリ診療所」として再スタートを切りました。

それに先立ち7月29日(月)、近隣住民のみなさまを中心に、市長や教育長など、ご来賓の方も迎え、記念式典を行いました。

これを機会にさらに地域に愛され、必要とされる学園をめざしたいと考えております。また診療所が附属しているのは学生にとっても大きな魅力のひとつであると認識をお持ちいただきたいと思います。



聴衆の前に熱弁を振るう理事長・八田学長

おはなしサークル「しゃぼんだま」の活動

短大 保育学科 明石 英子

おはなしサークル「しゃぼんだま」では、毎月1回、国分図書館で行われる「おはなし会」のボランティアをしています。乳児から小学生までの親子を対象に、図書館の方と一緒に絵本や紙芝居などの読み聞かせや、制作のお手伝いなどを行っています。

5月は母の日、7月は七夕、12月はクリスマスなど、季節のおはなしを学生が選んで読み聞かせをします。子どもたちはおはなしを楽しみにしており、笑顔が溢れています。親子との交流も学生たちには素敵な出会いであり、素晴らしい学びの場です。

毎回、実践前にはリハーサルを行い、図書館の方に読み方のコツなどをご指導いただけます。また、おはなし会終了後の反省会でも、図書館の方からご助言をいただきながら、自身の振り返りをします。保育専門職を目指す学生にとって様々な力を身につける貴重な場となっています。



2019年5月 母の日のプレゼントづくり! じょうずに書けたかな?



6月制作「はらへこあむし」



学生が選んだ季節の絵本を読み聞かせ!
子どもたちはおはなしの世界へ...



子どもたちと一緒に手遊びもします!



親子に寄り添って制作をサポート!



2018年12月 クリスマス会でサンタさんのお手伝いも!

テーブルマナー講習を受講しました

短大 医療秘書学科 西山 良子

医療秘書学科では、毎年1年生を対象にマナー教育の一環として、帝国ホテル大阪にてフレンチのフルコースをいただきながらテーブルマナー講習を受講しています。今年は5月25日(土)に実施しました。

初めに、マナーとエチケットの違い、円卓の上座はどこか等、講師の方が学生に質問をする形で楽しく、分かりやすく教えていただきました。

また、ナプキンの使い方や途中で席を立つときナイフとフォークはどのように置くのか等、食事をいただく上での基本的なマナーをその都度教えていただきました。

社会に出るとパーティ等に参加する機会が増えることと思います。その時、今回学んだ「テーブルマナー」を思い出し、恥ずかしい思いをすることなく、心地よく食事を楽しむことを願っています。





2年生 北海道修学旅行

高校 豊島 一欽



令和になっての初めての修学旅行は、6月17日(月)～20日(木)に、北海道(道央・道東方面)へ行きました。予定通りの時間に349名が伊丹空港に集合し、いざ北海道へ。

新千歳空港到着後、バスに乗り込みノーザンホースパークへ行き、名物のジンギスカンを味わいました。昼食後、15万坪の園内でクラス写真を撮影したり、友人と連結自転車に乗ったり、馬と触れ合ったり、ソフトクリームを片手に談笑するなど各々楽しい時間を過ごしていました。

2日目は然別湖体験学習を行いました。全員が迫力あるラフティングを体験し、大興奮でした。また、各自が事前に1つ選択したエアトリップ、マウンテンバイク、フィッシング、カナディアンカヌー、搾乳も体験しました。入れ食い状態で釣り上げられたニジマスをその場で焼いていただく醍醐味、どこまでも長く続く一本道をマウンテンバイクで体感、空中から眺める木々・草花の景色、搾乳を体験した後にいただく新鮮な牛乳・ソフトクリーム、どれも大自然を満喫できる内容でした。

3日目は①旭山動物園コース(ファーム富田・旭川ラーメン村・旭山動物園)、②十勝探訪コース(ボーヤファーム・幸

福駅・花畑牧場)、③阿寒湖コース(阿寒湖通覧船・アイヌコタン・秘境オンネト)、④札幌近郊コース(北海道開拓村・さっぽろ庵・札幌市内自由散策)の4つのコースから研修先を1つ選択し、クラス別行動を行いました。

最終日は、小樽市内の班別自由研修で、地図をたよりにロマン漂う街を散策しました。お寿司や海鮮丼を堪能したり、有名なお菓子の店や硝子細工の店、オルゴール堂等でお土産を購入したり、歴史的な運河の近くで人力車に乗るなど約3時間、あっという間の有意義な時間となりました。予定通りの時間に北海道を発ち、午後7時50分に無事、伊丹空港に到着しました。

色々アクシデントもありましたが、生徒たちはこの修学旅行を通じて、普段の生活では体験できないこと、集団行動の大切さ等を学んでくれました。この4日間は、高校時代の素晴らしい思い出の一つになったと思います。



理事長杯中学生バレーボール大会

高校 足立 匡



7月6日(土)・7日(日)に理事長杯中学生バレーボール大会が行われました。今年から女子のみの大会にリニューアルされ、参加チームがこれまでとは大きく変わり、今年初参加のチームが8校になって一新され、計16チームが参加しました。この大会に向けて、高校の第2体育館のエアコンが7月上旬に設置され、素晴らしい環境の中で行われました。

決勝戦は大阪の玉手中学校VS奈良の田原本北中学校で、この試合は総合体育館で行われました。他のコートの試合は一足先に終了していたので、参加チーム全員が観戦し

ている中での決勝戦でした。決勝戦らしく両チーム一步も引かない試合展開となり、フルセットの末、田原本北中学校が見事に優勝しました。大きなけが人もなく、無事2日間の日程を終了することができました。





English Program

(1年特Iコース 校外学習)

高校 泉陽一郎



5月13日(月)、特別進学Iコースの第一学年は「English Program」と銘打ち、大阪歴史博物館と大阪城公園において、外国人留学生と一緒に英語でのコミュニケーション&外国人観光客への突撃インタビューを体験しました。

午前中は、博物館の会議室において各グループに分かれて、外国人留学生たちと自己紹介ゲームなどを通して仲を深めながら、英語でのコミュニケーションに親しみました。午後からは、大阪城公園での昼食後、外国人観光客への突撃インタビューを行いました。

生徒たちは事前に英語の授業でインタビューをシミュレーションしていましたが、いざ本番となると緊張してしまつてなかなか一步を踏み出せませんでした。しかし、留学生に支えられながら一度インタビューが成功すると、堰

を切つたように各グループで、さらに果ては個人個人でインタビューを行い、大成功に終わりました。

最後は、博物館に戻つてまとめを行った後、修了証書をいただき、集合写真を撮りました。入学後、初めての校外学習は、生徒たちにとって大変貴重な体験となり、また、今後の人生にとつても役立つ経験になったようです。

今後も特別進学Iコースではグローバルな感性を磨くため、様々な取り組みに挑戦していきたいと考えています。



第4回キッズフェスタ

高校 中村 陽平

7月1日(月)、保育進学コースの行事として総合体育館にて、第4回キッズフェスタを開催しました。関西女子短期大学附属幼稚園から年中・年長クラス(230名)を招いて、3年生は「お店屋さんごっこ」、そして1・2年生は各種イベント(人が入れるシャボン玉、モグラたたき、折り紙、迷路、魚釣り、塗り絵など)を実施しました。

今年度は改元やG20大阪サミットの影響で、準備期間も非常に短く、生徒にとっては計画性が求められる行事となりましたが、各学年、班ごとによく打合せをし、効率よく準備ができていました。上級生は年中さんと年長さんの年齢差を考慮し、同じ遊びでもやり方やルールを上手に変えていました。1年生は初めての行事で戸惑う姿がありました、

時間とともに積極的に園児さんに声をかけることができるようになりました。

イベント終了後、例年はすぐに片づけを始めるころですが、今年度は各学年が準備したイベントを生徒同士が楽しむ時間を設けました。下級生は来年に向けて、どのような準備をすればよいのか、また、上級生は自分たちが取り組んできた内容をそれぞれの学年がどのようなアイデアで表現しているのか、それぞれに興味関心を抱き勉強をしていました。

どの生徒にとつても今後、保育活動を進めていくうえで良い経験を積み重ねることができた行事となりました。





ドキドキわくわくキャンプ!

幼稚園 畠山 由佳理

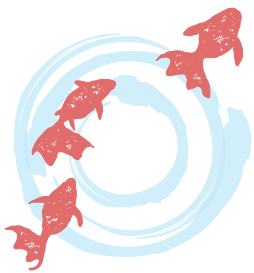
7月20日(土)、21日(日)に年長組は園内キャンプ、年中組は夏祭りを行いました。子どもたちと園内キャンプについて話し合うと、「楽しいことだらげやん!」「花火が楽しみ!」「みんなで入のお風呂ってどんな大きさ?」などと楽しみにしている様子でした。

夏祭りでは、金魚すくい、ヨーヨー釣り、迷路、ぬいぐるみ劇を楽しみました。そしてキャンプと言ったらカレー!夏野菜たっぷりのカレーをお腹一杯食べてから、キャンプファイアーを囲み盆踊りをしました。最後は子どもたちが一番楽しみにしていた花火です。打ち上げ花火が上がるたびに、子どもたちからは大きな歓声が上がっていました。

花火が終わり、年中組は来年に期待を残して帰宅します。年長組はお風呂に入っていよいよお泊りです。

遊戯室いっぱい布団を敷き、みんなで寝ることに子どもたちは大はしゃぎで、電気を消してもこそこそ声が聞こえます。初めて一人で泊まることにドキドキしている様子の子どものもいましたが、徐々に声がなくなり、みんな夢の中へ。気づけば外が明るくなっていました。

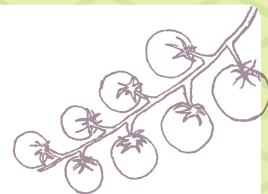
起きてきた子どもたちを見ると、凜々しい顔になっていました。友達と一緒に楽しい思い出がいっぱいでき、グンと成長した2日間でした。





ミニトマト栽培

幼稚園 川口 杏奈



今年の年中児(赤組)は本学、大学生のお兄さん、お姉さんと一緒にミニトマトの栽培を行いました。

5月の苗植えでは、小さく細い苗を折らないように、優しく力加減を考え、お兄さんお姉さんに手伝ってもらいながら「大きくな〜れ!!」と言って植える姿がとてもかわいかったです。毎日の水やり当番は表を作り、クラスごとに水やりをすることにしました。朝から「今日は水やり行かない!」とやる気満々!トマトの苗が大きくなると、「丸いみどり色の実があるよ?」と赤くないトマトを不思議そうに見ている子どもたちもいました。その後、緑が黄色に、黄色が赤にと変化するトマトの色に気づき、「これは緑と黄色のトマト!」と様々な色のトマトを見つけ楽しんでいました。赤くなったトマトをお兄さん、お姉さんたちと一緒に収穫。自分たちで育てたトマトは特別の味だったようで、「美味しい!あまい!」と言いながら、しっかりと味わっていました。トマトのように他のお野菜も好きになってくれるといいなと思った共同栽培でした。



強くて丈夫な歯!

幼稚園 三木 亜莉沙



6月に短大歯科衛生学科とその学生さんたちの協力のもと、附属幼稚園の子どもたちがフッ素塗布を受けました。最初は不安そうな表情をしていた子どももお姉さんたちの優しい声を聞いて、安心して大きな口を開けていました。どの学年の子どもたちも「何か味がしたよ!」「虫歯にならないようにする!」と言いながら頑張って、フッ素塗布

を受けていました。

年長児は実際に短大の歯科実習室に行きました。広いお部屋や、治療椅子を見て「本当の歯医者さんみたい!」「座るのがドキドキする!」と興味津々でした。

今回のことをきっかけに、子どもたちが自分の歯に興味をもち、これからも歯を大切にしてほしいと思います。



平成30年度 決算概要

資金収支計算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで (単位 千円)

収入の部		支出の部	
科目	決算	科目	決算
学生生徒等納付金収入	4,459,661	人件費支出	3,478,150
手数料収入	64,289	教育研究経費支出	1,310,881
寄付金収入	5,318	管理経費支出	501,949
補助金収入	1,164,837	借入金等利息支出	0
資産売却収入	0	借入金等返済支出	0
付随事業・収益事業収入	105,702	施設関係支出	424,009
受取利息・配当金収入	17,345	設備関係支出	133,078
雑収入	144,291	資産運用支出	214,020
借入金等収入	0	その他の支出	290,295
前受金収入	793,907	資金支出調整勘定	△301,386
その他の収入	209,765	次年度繰越支払資金	2,937,463
資金収入調整勘定	△931,192		
前年度繰越支払資金	2,954,538		
収入の部 合計	8,988,461	支出の部 合計	8,988,461

※勘定科目ごとに数値を四捨五入して記載しておりますので合計額とは一致していない場合があります。

事業活動収支計算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで (単位 千円)

事業活動収入の部		事業活動支出の部	
科目	決算	科目	決算
学生生徒等納付金	4,459,661	人件費	3,483,586
手数料	64,289	教育研究経費	1,882,294
寄付金	6,393	管理経費	551,288
経常費等補助金	1,124,410	徴収不能額等	630
付随事業収入	105,702		
雑収入	146,651		
教育活動収入計	5,907,106	教育活動支出計	5,917,797
教育活動収支差額	△10,691		

事業活動収入の部		事業活動支出の部	
科目	決算	科目	決算
受取利息・配当金	17,346	その他の教育活動外支出	0
教育活動外収入計	17,346	教育活動外支出計	0
教育活動外収支差額	17,346		
経常収支差額	6,654		

事業活動収入の部		事業活動支出の部	
科目	決算	科目	決算
資産売却差額	0	資産処分差額	2,661
その他の特別収入	44,778	その他の特別支出	267
特別収入計	44,778	特別支出計	2,927
特別収支差額	41,851		

基本金組入前当年度収支差額	48,506
基本金組入額合計	△430,597
当年度収支差額	△382,092
前年度繰越収支差額	△2,763,209
基本金取崩額	6,194
翌年度繰越収支差額	△3,139,106
(参考)	
事業活動収入計	5,969,230
事業活動支出計	5,920,725

※勘定科目ごとに数値を四捨五入して記載しておりますので合計額とは一致していない場合があります。

【資金収支計算書】

学生生徒等納付金収入は、法人全体の学生・生徒数が前年度と比べて若干減少したため、予算比では63百万円増加したものの、前年度比6百万円減少の4,460百万円となりました。

手数料収入は、入学検定料収入が増加したため、予算比15百万円増加、前年度比1百万円増加の64百万円となりました。

寄付金収入は、予算比5百万円増加、前年度比15百万円減少の5百万円となりました。

補助金収入は、予算比59百万円増加、前年度比109百万円減少の1,165百万円となりました。

付随事業・収益事業収入は、予算比8百万円減少、前年度比17百万円増加の106百万円となりました。

受取利息・配当金収入は、予算及び前年度実績とほぼ同額の17百万円となりました。

雑収入は、私立大学退職金財団からの交付金収入が増加したため、予算比28百万円増加、前年度比16百万円増加の144百万円となりました。

前受金収入は、奨学金支給対象者が想定以上に多かったため、予算比では132百万円減少したものの、前年度比33百万円増加の794百万円となりました。

その他の収入は、学園新校舎が今年度に完成しておらず、第2号基本金引当特定資産取崩収入400百万円を計上しなかったため、予算比では396百万円減少し、前年度に高校新校舎建築に係る補助金の未収入金収入があった影響により前年度比360百万円減少の210百万円となりました。

その結果、収入の部合計は、予算比439百万円減少、前年度比188百万円増加の8,988百万円となりました。

人件費支出は、主として教員人件費支出が減少したため、予算比66百万円減少、前年度比6百万円減少の3,478百万円となりました。

教育研究経費支出は、消耗品費支出、報酬委託手数料支出等が想定よりも少なく、予算比22百万円の減少となりました。また、前年度に高校1号館改修工事に伴う修繕費支出や短大2号館及び蜂の巣校舎の解体工事に係る支出があった影響により、前年度比は90百万円減少し1,311百万円となりました。

管理経費支出は、予算比ほぼ同額、前年度比1百万円増加の502百万円となりました。

施設関係支出は、学園新校舎建築に係る支出のうち、今年度支払予定の一部が来年度以降に支払われることとなったため、予算比611百万円減少となりました。一方、認定こども園の新園舎建築、TamaSquare整備工事に係る支出があったため、前年度比は172百万円増加し、424百万円となりました。

設備関係支出は、情報処理実習室用パソコン購入による支出が大きかったため、予算比で32百万円減少したものの、前年度比22百万円増加の133百万円となりました。

資産運用支出は、退職給与引当特定資産繰入支出3百万円、収益事業元入金支出30百万円、減価償却引当特定資産への繰入181百万円の合計額であり、予算比17百万円減少、前年度比84百万円増加の214百万円となりました。

上記の結果、翌年度繰越支払資金は予算比453百万円増加、前年度比18百万円減少の2,937百万円となりました。

【事業活動収支計算書】

(教育活動収支)

教育活動収入は、学生生徒納付金が想定より上振れて予算比で125百万円増加したものの、前年度比41百万円減少の5,907百万円となりました。

教育活動支出は、人件費及び教育研究経費が減少したため、予算比58百万円減少、前年度比99百万円減少の5,918百万円となりました。

その結果、教育活動収支差額は予算比184百万円増加、前年度比57百万円増加の△11百万円となりました。

(教育活動外収支)

教育活動外収支において、収入は受取利息・配当金のみであり、予算及び前年度実績とほぼ同額の17百万円となりました。支出は借入金等利息等ですが、借入金がないので予算、実績共0です。

その結果、教育活動外収支差額は予算額及び前年度実績とほぼ同額の17百万円となり、経常収支差額は、予算比185百万円増加、前年度比59百万円増加の7百万円となりました。

(特別収支)

特別収入は、施設設備補助金及び現物寄付等を計上したため、予算比は45百万円増加したものの、前年度比は61百万円減少の45百万円となりました。

特別支出は、予算比で4百万円減少し、前年度に短大2号館及び蜂の巣校舎解体撤去に伴う建物処分差額等があった影響により前年度比112百万円減少の3百万円となりました。

その結果、特別収支差額は、予算比49百万円増加、前年度比51百万円増加の42百万円となりました。

(当年度収支差額等)

基本金組入前当年度収支差額は、前年度よりも学生生徒等納付金等の教育活動収入が減少したものの、教育研究経費等の教育活動支出や資産処分差額等の特別支出が減少したことにより、予算比234百万円増加、前年度比110百万円増加の49百万円となりました。

基本金組入額合計は、学園新校舎建築に係る支出のうち、今年度支払予定の一部が来年度以降に支払われることとなったため、予算比606百万円の減少となりました。一方、認定こども園新園舎建築工事及び既存校舎改修工事に係る1号基本金への組入などがあり、前年度比は353百万円増加し431百万円となりました。

その結果、当年度収支差額は予算比840百万円増加、前年度比243百万円減少の△382百万円となりました。また、基本金取崩額6百万円があり、翌年度繰越収支差額は予算比609百万円増加、前年度比376百万円減少の△3,139百万円となりました。

貸借対照表

平成31年 3月31日

(単位 千円)

資産の部		負債の部	
科目	本年度末	科目	本年度末
固定資産	20,862,431	固定負債	711,366
有形固定資産	14,079,069	退職給与引当金	711,366
特定資産	6,146,260	流動負債	1,454,446
その他の固定資産	637,102	前受金	795,033
流動資産	3,126,096	その他	659,413
現金預金	2,937,463	負債の部合計	2,165,812
その他	188,633		
		純資産の部	
		科目	本年度末
		基本金	24,961,821
		第1号基本金	24,195,821
		第2号基本金	400,000
		第4号基本金	366,000
		繰越収支差額	△3,139,106
		翌年度繰越収支差額	△3,139,106
		純資産の部合計	21,822,715
資産の部合計	23,988,527	負債及び純資産の部合計	23,988,527

※勘定科目ごとに数値を四捨五入して記載しておりますので合計額とは一致していない場合があります。

【貸借対照表】

資産の部において、有形固定資産は、認定こども園新園舎建築工事及び既存園舎改修工事による増加があったものの、前年度末比63百万円減少の14,079百万円となりました。

特定資産は、退職給与引当特定資産が3百万円、減価償却引当特定資産が181百万円増加したことにより、前年度末比184百万円増加の6,146百万円となりました。

その他の固定資産は、収益事業元入金の増加等により、前年度末比31百万円増加の637百万円となり、固定資産合計では前年度末比152百万円増加の20,862百万円となりました。

流動資産は、主として現金預金及び未収入金が減少したため、前年度末比48百万円減少の3,126百万円となりました。

その結果、資産の部合計は前年度末比106百万円増加の23,989百万円となりました。

負債の部においては、主として前受金及び未払金が増加したため、負債の部合計は前年度末比57百万円増加の総額2,166百万円となりました。

純資産の部において、基本金は、認定こども園新園舎建築工事及び既存園舎改修工事等により、第1号基本金が増加したため、前年度末比425百万円増加の24,962百万円となりました。

繰越収支差額（翌年度繰越収支差額）は、事業活動収支計算書の当年度収支差額等で述べたように、前年度末比376百万円減少の△3,139百万円となりました。

その結果、純資産の部合計は前年度末比49百万円増加の21,823百万円となりました。

令和元年度 予算概要

資金収支予算書

平成31年 4月1日から 令和2年 3月31日まで

(単位 千円)

収入の部		支出の部	
科目	予算	科目	予算
学生生徒等納付金収入	4,352,156	人件費支出	3,458,669
手数料収入	62,208	教育研究経費支出	1,345,059
寄付金収入	0	管理経費支出	487,860
補助金収入	1,162,197	借入金等利息支出	0
資産売却収入	0	借入金等返済支出	0
付随事業・収益事業収入	91,769	施設関係支出	1,908,467
受取利息・配当金収入	16,000	設備関係支出	84,465
雑収入	109,356	資産運用支出	249,340
借入金等収入	0	その他の支出	304,923
前受金収入	925,234	[予備費]	20,000
その他の収入	172,032	資金支出調整勘定	△110,334
資金収入調整勘定	△885,846	翌年度繰越支払資金	1,194,120
前年度繰越支払資金	2,937,463		
収入の部合計	8,942,569	支出の部合計	8,942,569

【資金収支予算書】

令和元年度予算は、施設や設備など投資に係る支出が大きいことにより、収支の均衡を欠く予算編成となりました。

資金収入は、前年度の学園新校舎建設に係る第2号基本金引当特定資産取崩収入が大きかったため、前年度比405百万円減の5,794百万円となりました。

資金支出は、学園新校舎建設や積極的な投資を含んだものとなり、前年度比715百万円増の7,305百万円となりました。

その結果、資金収支差額が△1,511百万円となり、次年度繰越支払資金が減少する予算編成となりました。

【事業活動収支予算書】

事業活動収支においても資金収支と同様の要因により、事業活動収入は、学生生徒等の減少により学納金が減少するものの、経常費等補助金等が増加する見込みであり、全体では、ほぼ横ばいの前年度比5百万円減の5,793百万円となりました。

事業活動支出は、人件費が減少するものの、教育研究経費等が増加する見込みであり、全体でほぼ横ばいの前年度比7百万円減の5,976百万円となりました。基本金組入額は、学園新校舎の建設額が大きく、前年度比1,193百万円増の1,993百万円となりました。

その結果、基本金組入前当年度収支差額は前年度比2百万円増で△183百万円、基本金組入後の当年度収支差額は前年度比1,191百万円減で△2,176百万円となり、翌年度繰越収支差額が減少する予算編成となりました。

事業活動収支予算書

平成31年 4月1日から 令和2年 3月31日まで

(単位 千円)

	事業活動収入の部		事業活動支出の部	
	科目	予算	科目	予算
教育活動収支	学生生徒等納付金	4,352,156	人件費	3,489,939
	手数料	62,208	教育研究経費	1,909,650
	寄付金	0	管理経費	538,706
	経常費等補助金	1,151,614	教育活動支出計	5,938,295
	付随事業収入	91,769		
	雑収入	109,356		
	教育活動収入計	5,767,103		
	教育活動収支差額			△171,192
教育活動外収支	事業活動収入の部		事業活動支出の部	
	科目	予算	科目	予算
	受取利息・配当金	16,000	その他の教育活動外支出	0
	教育活動外収入計	16,000	教育活動外支出計	0
	教育活動外収支差額			16,000
	経常収支差額			△155,192

	事業活動収入の部		事業活動支出の部	
	科目	予算	科目	予算
特別収支	資産売却差額	0	資産処分差額	18,341
	その他の特別収入	10,583	その他の特別支出	0
	特別収入計	10,583	特別支出計	18,341
	特別収支差額			△7,758
	[予備費]			20,000
	基本金組入前当年度収支差額			△182,950
	基本金組入額合計			△1,992,932
	当年度収支差額			△2,175,882
	前年度繰越収支差額			△3,139,106
	基本金取崩額			0
	翌年度繰越収支差額			△5,314,988
	(参考)			
	事業活動収入計	5,793,686		
	事業活動支出計	5,976,636		

法人本部 財務部

学園新校舎 完成に向け ラストスパート

法人本部 施設部 田堀 富造

学園新校舎は令和2年5月の使用開始に向け、10月末頃には鉄骨フレームが完成し外観イメージが形になって見えます。

建物は6階建てで、1階は事務局、2階・3階は皆さんの居場所となる自習室、4階～6階は新しい機能を持った講義室です。また、皆さんの移動利便性を考慮し、1階～3階に学園初となるエスカレータを設置します！

建物の内装や机・イスなども、ワーキングチームが他大学を見学したり、カタログや現物を見比べたりしながら、皆さんがより快適に過ごせるよう、選定作業を行っています。

皆さんにとって、「学び」「遊び」「寛げる」場所、何時間でも居なくなる「快適な」場所をめざします。ご期待ください！

学生が自由に (いつでも、どこでも、飲食可で) 使える「学び」と「交流」の場

6階	講義室 レセプションにも利用できる品格のある学びの場
5階	講義室 フローリング仕様の講義室を併設し、多目的に使用できる場
4階	講義室 広い机、巨大スクリーンを設置し、自然の中にいるような快適な学修の場。
3階	ラーニングcommons (協働学修エリア、個人学修エリア) 多様な学修スタイルに対応し、学生同士の学び・交流を支援する場 学生が集中して学修できる場 (Free Charging Free Wifi)
2階	ラーニングcommons (協働学修エリア、プレゼンテーションルーム、学修サポートセンター) 多様な学修スタイルに対応し、学生同士の学び・交流を支援する場 カフェの雰囲気の中で、個々の好みに合わせて学び・交流する場 (Free Charging FreeWifi and Caffe)
1階	大学事務局 (教務部、学生支援センター) 授業や学生生活、就職支援に関して気軽に相談できる窓口

各階の概要



1階ホールエスカレータ



4階大講義室

学園広報編集委員会

委員長 湯川 雅紀 (大学教育学部) 古橋 正則 (高等学校) 與原 真弓 (法人本部)
委員 横山 学 (大学事務局) 稲垣 晃子 (幼稚園) 松井 愛 (法人本部)
辻村 匡志 (大学事務局) 植田 陽 (法人本部)